

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



横浜旭ロータリークラブ

2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC会長 / 北澤 正浩

ガールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日 / 12時30分～1時30分

2024年8月21日 第2552回例会 VOL.56 No.5

- 司会 SAA 関口 大樹
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 斉唱 我等の生業
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	14名
本日の出席率	70.00%	修正出席率	68.42%

■本日の欠席者

福村、日向、目黒、中谷、二宮、宋

■ビジター

長戸はるみ様 (第2590地区ガバナー: 横浜東RC)

高橋 忠夫様 (第5Gガバナー補佐: 横浜田園RC)

■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。パリオリンピックの閉会式が日本時間の12日に華やかに行われ、17日間にわたる壮大なスポーツの祭典が幕を閉じました。今回のオリンピックで、日本勢は海外で開催されたオリンピックとしては最多となる金メダル20個、総計45個のメダルを獲得するという驚異的な成果を収めました。この偉業はもちろん素晴らしいことですが、メダルの数にとどまらず、選手たちが見せてくれた数々の感動的なドラマやスポーツマンシップが、何よりも心に残るものとなりました。

ほとんどの競技が日本では深夜に行われたため、多くの日本人にとって寝不足の日々が続き

ましたが、それでも普段はあまり関心を持たない競技にまで熱中することができたのは、オリンピックの持つ特別な魅力があったからこそでしょう。閉会式では、次回の開催都市であるロサンゼルスにオリンピックの旗が引き継がれました。2026年にイタリアのミラノとコルティナで開催される冬季オリンピックも今から非常に楽しみであり、これからも世界中のアスリートたちが繰り広げる新たなドラマが待ち遠しい限りです。

本日は、長戸ガバナーにお越しいただきました。ガバナーにおかれましては、つい先日大変なケガをされたばかりで、まだ体調が万全ではない中、このようにお越しいただきましたこと、私たち一同、心より感謝しております。ガバナーのご訪問は、私たちにとって非常に貴重な機会であり、直接お話を伺えることは、私たちのロータリー活動に新たな視点をもたらすものと、大いに期待しております。ガバナーの深い知見と経験から、私たちが学び、今後の活動に役立てていくことができることを、心より楽しみにしております。

長戸ガバナーからの地区方針の中で、「次世代につなごう！」という力強いメッセージをいただいております、その考えに基づき、今後の3年

間にわたる目標と計画を策定するよう指示を受けました。当クラブでは、自然災害時における避難所への支援体制の強化を主要な目標とすることを決定いたしました。このような長期にわたるプロジェクトは前例がなく、その達成には多くの困難や課題が予想されます。正直なところ、この課題に直面した際は非常に難しい挑戦だと感じましたが、それ以上に大きなやりがいを感じております。

当クラブは小規模であり、人員にも限りがあるため、これまでのプロジェクトにおいては、計画の実施に際しても限界があり、期待された結果を十分に達成することが難しい状況が続いておりました。しかしながら、今回のプロジェクトは3年間という長期にわたる計画であり、継続的かつ組織的に取り組むことで、これまでの経験を活かしつつ、より大規模で複雑なプロジェクトに挑戦することが可能になりました。このような長期的な視野に立った取り組みは、地域社会に対する影響力をこれまで以上に高めるだけでなく、当クラブが地域に与えるインパクトを飛躍的に拡大し、社会貢献の度合いを一層強化することに寄与すると確信しております。

当クラブのメンバー一同、このプロジェクトの意義を深く認識し、それぞれが持つスキルや経験を最大限に活用し、協力して目標達成に向けて邁進していければと考えております。

また、ガバナーの訪問を機に、私たちのクラブの活動を振り返り、今後の目標を再確認する良い機会としたいと思います。ロータリーの理念を実現し、より良い未来を築いていくために、一層のご協力をお願い申し上げます。

■幹事報告 市川 慎二

理事会報告／第六回理事会議事録

日時／令和6年8月7日(水) 13時30分より

場所／例会場

出席者／北澤正浩、安藤公一、五十嵐正、

岡田 隆、新川 尚、田川富男、市川慎二

欠席者／佐藤真吾、関口大樹

【報告事項】 地区関係

1) ロータリー財団グローバル補助金奨学生候補「方しおん」さんが承認されました。

【審議事項】

1) イタリアの防災事情を聴く講演会について多数の日程候補、及び会場候補がある中、理事会で検討した。

日程を令和6年12月14日(土) 14時～16時、場所を神奈川近代文学館で開催とする。承認

2) クラブ行動計画推進リーダー選任についてこれまでの経験年数や実績、行動力などから、理事会で五十嵐会員の名前が挙がり、満場一致で、クラブ行動計画推進リーダーに五十嵐会員を選任した。承認

■プログラム委員会

五十嵐 正

LINEでもご案内しましたが、この度グローバル奨学生に見事合格されました、しおん様の卓話を9月4日にご用意しました。そうある機会ではないので、皆さまに拝聴して頂けるように、しおん様の略歴をご紹介します。

方(ばん) しおん

旭区生まれ。父親が韓国人、母親が日本人のハーフ
2021年 国際基督教大学教養学部卒業(国際関係専攻・環境研究副専攻)

2021年4月～PwC サステナビリティ合同会社入社

2024年9月～2025年11月 同社を退職し、University College LondonにてProsperity, People and Planet MSc(繁栄、人々、地球修士号)を専攻予定

【専攻分野】

環境、社会、経済の相互関係性を理解した上で、持続可能な社会を実現するための政策を研究するコースで、特に国内総生産(GDP)に代わる経済指標として、環境・社会・経済側面から国の豊かさを測る真の進捗指標(GPI)の導入を提唱。生態系と経済との相互関係性を扱う生態経済学を学問的基盤とし、生態経済学の理論・分析手法を学ぶという内容です。

人間と地球の両方にとってより良い未来を築

く方法とのことです。ご期待ください。

■3カ年プロジェクト 五十嵐 正

幹事からも報告がありましたが、12月14日神奈川近代文学館ホールにて、イタリアの防災に学ぶと題した市民講演会を行います。これは3カ年プロジェクトの1年目の柱になる企画です。防災を通して地域に防災コミュニティの形成を目指す第一歩の事業になります。

3カ年プロジェクトは今は委員会ではないので、この事業は社会奉仕と災害対策委員会のご協力をお願いして行うものです。

今後のスケジュールとしては、社会奉仕と災害対策委員会と3カ年プロジェクトチームで合同の会議をお願いして、講演内容・集客方法・当日の運営方法などを整理して、10月より広報活動に移りたいと考えます。

■親睦委員会 田川 富男 情報集会の開催

今回、情報集会を開催します。コロナ感染症が拡大された以来、久しぶりの集会です。集会の内容として会員増強と長戸はるみガバナ一方針の「3年間の目標と計画・3-Year Targets」の初年度であり継続させる観点からも大切な討議集会です。その他の討議意見など、各グループはリーダーを中心として前向きな発言を期待しています。9月に集会、10月に発表と段取りをしてください。

情報集会グループリーダーの方は集会の場所・時間の作成と下記のテーマをまとめて発表を開催後の例会で実施してください。また、集会の方法はリーダーにおまかせ致しますが、自由な意見が出せる雰囲気造りを考案してください。

各グループは全員で課題テーマを討議してください。テーマは同じでも他のグループでは考え付かない発想を期待しております。

記

情報集会テーマ

- * 3年間の目標と計画について
- * 会員増強の方法
- * 会費について（財団・米山の寄付金を入れる）

*その他（前向きで自由な内容を）

【グループメンバー】

▶Aグループ

岡田 隆（リーダー）、新川 尚（サブリーダー）
草柳孝弘、宋 謹衣、中谷逸希、福村 正

▶Bグループ

関口大樹（リーダー）、安藤公一（サブリーダー）
五十嵐正、増田嘉一郎、二宮麻理子、日向 彰

▶Cグループ

佐藤 勉（リーダー）、佐藤真吾（サブリーダー）
目黒恵一、佐藤利明、田川富男、関澤信吾
北澤会長・市川幹事の2名はフリー参加（予定）集会の開催時期は9月中に実施してください。情報集会での発表は10月9日(水)に各グループにて10分以内にまとめて代表者（全員発表可）が発表してください。

■ロータリーの友紹介 新川 尚 ※横組み

RI会長メッセージ

難題を好機に「ロータリーのマジック」を実現するには自クラブへの帰属意識が必要である

p. 7 / 新しいクラブ新しいスタイル

新しいクラブの在り方を模索し、会員増強に至った事例が紹介されています。

p. 49 / ELEVATE ROTARACT

横浜南ローターアクトクラブが紹介されています。

縦組み

p. 4 / SPEECH

RI2630地区 岐阜東濃グループ IM 基調講演要旨

「デザインは“気遣い”です」

p. 16 / 友愛の広場

故郷・輪島でへ募る思い

新横浜 RC の岩和志さんの記事

p. 14 / 俳壇・歌壇・柳壇

俳壇の選者 夏井いつき先生

■ニコニコBOX

長戸はるみ様（第2590地区ガバナー）／北澤会長を始め、会員の皆様、本日は宜しく願い申し上げます。

高橋 忠夫様（第5Gガバナー補佐）／本日のクラ

③ローターアクトクラブの活性化、会員増強、
ロータリークラブとの協力と繋がり

ローターアクトクラブと
提唱クラブ以外のクラブとの活動を
積極的に協力し合う。

横の繋がりを意識しましょう

⑧世界ポリオデーのイベント開催（ポリオ撲滅活動）

- ・2024年10月6日（日）
ローターアクト、インターアクト参加（横浜市役所アトリウム）
- ・2024年10月8日（火）
チャリティーゴルフ大会（相模原JF）



(535607年度)

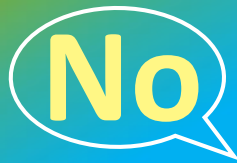


(535607年度)

④多様性の一つとして、同じような奉仕プロジェクトや
行事ばかりを実施するのではなく、
多様な文化や行事などの活動にも目を向けよう



⑤ロータリーはいかなる形のハラスメントもない環境を
維持することに力を注いでいます



今迄の常識はダメなことが多い
飲食（アルコールを伴う）の席は特に気をつける

⑥マイロータリーの登録

全会員の登録をお願いします。
ロータリー活動に必要な情報のために。



⑦クラブ優秀賞へ挑戦

全クラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブで
挑戦しましょう

クラブで会員の参加を促し、
地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、
効率的に運営する一助となります。
参加を促すクラブは、
ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。

ロータリー財団、米山記念奨学事業へ
ご理解、ご協力をお願い

①ロータリー財団への寄付

- ・年次基金寄付 150ドル以上
- ・恒久基金寄付（ベネファクター1名相当の寄付額は1,000ドル）
- ・30名未満のクラブは2024-26年度の間で1名（1,000ドル）以上
- ・30名以上50名未満のクラブは1名（1,000ドル）以上
- ・50名以上のクラブは2名（2,000ドル）以上
- ・ポリオプラス基金 1人30ドル以上
- ・ポールハリス・ンサイエティ 60名以上

ロータリー財団、米山記念奨学事業へ
ご理解、ご協力をお願い

②米山記念奨学事業寄付

- ・普通寄付 4人 5,000円 以上
- ・特別寄付 4人 20,000円 以上

③「ロータリー希望の風奨学金」への支援

東日本大震災により災害孤児となった青少年への教育支援です

インフォメーション

国際ロータリー第58<3地区

5357058年度 地区大会

44月48日<金> 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
講師：高橋 裕子氏

44月49日<土> パシフィコ横浜
講師：ジュディ・オング氏

ロータリーのマジックがいっぱい
ロータリー国際大会

5358年9月54日~58日
カルガリー（カナダ）



D 誰もが
E 笑顔で
I 居心地のいい

クラブを心がけて
4年間頑張っていきます



2024年度7月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安 藤 公 一	100	0	100	12	岡 田 隆	34	33	67
2	福 村 正	0	0	0	13	佐 藤 真 吾	67	33	100
3	日 向 彰	0	0	0	14	佐 藤 利 明	－出席規定免除－		
4	市 川 慎 二	100	33	133	15	佐 藤 勉	100	0	100
5	五十嵐 正	100	0	100	16	関 口 大 樹	100	0	100
6	北 澤 正 浩	100	67	167	17	目 黒 恵 一	0	0	0
7	草 柳 孝 広	100	0	100	18	宋 謹 衣	0	0	0
8	増 田 嘉 一 郎	－出席規定免除－			19	田 川 富 男	100	0	100
9	中 谷 逸 希	0	0	0	20	関 澤 信 吾	100	0	100
10	新 川 尚	100	33	133	21				
11	二 宮 麻 理 子	0	0	0	22				
例 会 日		3日	10日		24日				平均
例会出席率		$\frac{13}{20}$ 65.00%	$\frac{11}{19}$ 57.89%		$\frac{12}{19}$ 63.16%				
修正出席率		$\frac{15}{20}$ 75.00%	$\frac{11}{19}$ 57.89%		$\frac{13}{19}$ 68.42%				67.10%